

STIC Translation Branch Request Form

Phone: 308-0881 Crystal Plaza 1/4, Room 2C15 <http://ptoweb/pat>

PTO 2004-0463

S.T.I.C. Translations Branch

Information in shaded areas marked with an * is required
Fill out a separate Request Form for each document

*U. S. Serial No. : 09/607557

*Requester's Name: John Winter Phone No.: 305-3971

Office Location: 7C02 PK5 Art Unit/Org.: 3621

Is this for the Board of Patent Appeals? NO

Date of Request: 29 Oct. 2003

*Date Needed By: 10 Nov. 2003

(Please indicate a specific date)

Document Identification (Select One):

Note: If submitting a request for patent translation, it is not necessary to attach a copy of the document with the request.
If requesting a non-patent translation, please attach a complete, legible copy of the document to be translated to this form and submit it at your EIC or a STIC Library

1. ☒ Patent *Document No. 11288437 ✓
*Country Code JP
*Publication Date 10/19/99
*Language Japanese
No. of Pages _____ (filled by STIC)

Translations Branch
The world of foreign prior art to
Translations

2. ☐ Article *Author _____
*Language _____
*Country _____
*Type of Document _____
*Country _____
*Language _____
Other _____

Equivalent Searching Foreign Patents

To assist us in providing the most cost effective service, please answer these questions:

- Will you accept an English Language Equivalent? _____ (Yes/No)
- Would you like to review this document with a translator prior to having a complete written translation?
(Translator will call you to set up a mutually convenient time) _____ Yes/No
- Would you like a Human Assisted Machine translation? _____ (Yes/No)
Human Assisted Machine translations provided by Derwent/Schreiber is the default for Japanese Patents 1993 onwards with an Average 5-day turnaround.

Handwritten note: LKI Copy of HMAT B-Max 11-6-03

STIC USE ONLY

Copy/Search
Processor: _____
Date assigned: _____
Date filled: _____
Equivalent found: (Yes/No) _____

Doc. No.: _____
Country: _____

Translation
Date logged in: 10.19.03
PTO estimated words: _____
Number of pages: 89
In-House Translation Available: _____

In-House
Translator: _____
Assigned: _____
Returned: _____
Contractor: _____
Name: DW
Priority: _____
Sent: 10-30-03
Returned: 11-6-03



RECEIVED

2003 OCT 29 PM 4:05

TRANSLATION DIVISION
USPTO SCIENTIFIC LIBRARY

Handwritten signature/initials

Handwritten note: What Search Attached

WEST

Generate Collection

Print

L1: Entry 1 of 2

File: JPAB

Oct 19, 1999

PUB-NO: JP411288437A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 11288437 A

TITLE: LANDSCAPE GARDENING ESTIMATION SYSTEM

PUBN-DATE: October 19, 1999

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

UEDA, KATSUHIKO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SEKISUI HOUSE LTD

APPL-NO: JP10091334

APPL-DATE: April 3, 1998

INT-CL (IPC): G06 F 17/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a landscape gardening estimation system for quickly and accurately calculating the estimated sum of the costs of landscape gardening construction.

SOLUTION: Item names such as the names of using materials or construction contents for each construction classification of landscape gardening construction and estimated quantity and unit price for each item are inputted on a screen 11 of a personal computer so that the estimated sum of the costs of the landscape construction can be calculated on the screen 11. Also, the list of the item names is preliminarily stored in the storing part of the personal computer, and when the list is displayed on the screen, the desired item name is selected from the list so that the desired item name can be inputted on the screen. Also, the estimated unit price for each item is preliminarily stored in the storing part, and when the desired item name is inputted on the screen so that the estimated unit price corresponding to the item name can be read from the storing part, and displayed on the screen.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 許出願公開番号

特開平11-288437

(43) 公開日 平成11年(1999)10月19日

(51) IntCl⁶

G 0 6 F 17/60

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21

T

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-91334

(22) 出願日 平成10年(1998) 4月 3日

(71) 出願人 000198787

積水ハウス株式会社

大阪府大阪市北区大淀中1丁目1番88号

(72) 発明者 上田 勝彦

大阪市北区大淀中1丁目1番88号 積水ハ
ウス株式会社内

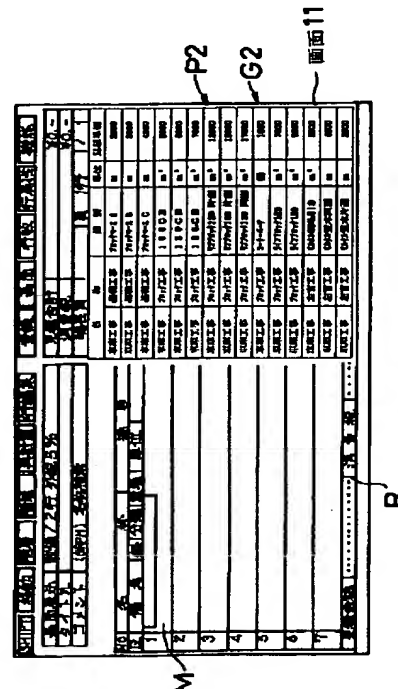
(74) 代理人 弁理士 渡辺 三彦

(54) 【発明の名称】 造園見積システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 短時間で正確に造園工事の費用の見積金額を算出できる造園見積システムを提供すること。

【解決手段】 パーソナルコンピュータの画面11上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容名等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を画面11上で算出するようにしたもの。また、項目名の一覧が予めパーソナルコンピュータの記憶部に記憶されており、一覧を画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより画面上に所望の項目名を入力する。また、各項目毎の見積単価が予め記憶部に記憶されており、画面上で所望の項目名を入力すると、項目名に対応する見積単価が記憶部から読み出されて画面上に表示される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 パーソナルコンピュータの画面上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容名等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を上記画面上で算出するようにしたことを特徴とする造園見積システム。

【請求項2】 上記項目名の一覧が予め上記パーソナルコンピュータの記憶部に記憶されており、上記一覧を上記画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより上記画面上に所望の項目名を入力するよう10 にしたことを特徴とする請求項1記載の造園見積システム。

【請求項3】 各項目毎の見積単価が予め上記記憶部に記憶されており、上記画面上で所望の項目名を入力すると、当該項目名に対応する見積単価が上記記憶部から読み出されて上記画面上に表示されることを特徴とする請求項1または2記載の造園見積システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の利用分野】本発明は、造園工事の費用の見積を行うための造園見積システムに関する。 20

【0002】

【従来の技術】従来、造園工事の費用の見積を行う場合、工事に使用する各種材料の名称や工事内容等の各項目を見積用紙に手書きで記入するとともに、各項目毎の見積単価及び見積数量を手書きで記入し、合計金額を算出するようにしていた。また、造園工事の開始後等に所望の顧客のデータを参照したい場合、台帳等から該当する顧客のデータを検索するようにしていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところが、その場合、造園工事の費用の見積を手書きの用紙を用いて行うものであるから、作業が煩雑になるとともに、見積金額の計算ミスも生じやすい問題を有していた。また、造園工事の受注は建築会社で行い、費用の見積及び実際の工事は工事業者で行うような分業体制を取っている場合、工事の内容は同一であっても個々の工事業者毎に見積金額が相違する場合があり、建築会社による工事費用の管理が困難なものであった。さらに、所望の顧客のデータを参照したい場合、当該データの検索を台帳等に基づいて行っていたので、検索作業に時間が掛かる問題を有していた。 40

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の上記の問題点を解決して、短時間で正確に造園工事の費用の見積金額を算出できる造園見積システムを提供することを目的とする。そのため、本発明の請求項1の造園見積システムは、パーソナルコンピュータの画面上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容名等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を上記画面上で算出するようにしたことを特徴とするものである。

【0005】請求項2の造園見積システムは、請求項1の見積システムにおいて、上記項目名の一覧が予め上記パーソナルコンピュータの記憶部に記憶されており、上記一覧を上記画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより上記画面上に所望の項目名を入力するようにしたことを特徴とするものである。

【0006】請求項3の造園見積システムは、請求項1または2の見積システムにおいて、各項目毎の見積単価が予め上記記憶部に記憶されており、上記画面上で所望の項目名を入力すると、当該項目名に対応する見積単価が上記記憶部から読み出されて上記画面上に表示されることを特徴とするものである。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態について以下説明する。図1に示すように、建築会社Aは顧客Bからの造園工事の相談を受け付け、工事業者Cは建築会社Aからの依頼に基づき、本発明の造園見積システムSを用いて顧客Bの希望する造園工事の費用の見積を行うとともに、建築会社Aが顧客Bから正式に工事を受注した後 30 に工事業者Cは実際の工事を担当するようになっている。

【0008】建築会社Aはパーソナルコンピュータ1を用いて、造園工事の各工事種別（「車庫工事」、「擁壁工事」等）毎の工事内容名（「基礎工事」、「ブロック工事」等）や各種工事で使用する材料名（「ブロックベース」、「コーナーパーツ」等）からなる項目名を設定するとともに、各項目毎の見積単価を設定し、ここで設定した項目別見積単価一覧を、例えば、フロッピーディスク2に記憶させて工事業者Cに配付する。以下の表1に項目別見積単価一覧の一部を例示する。

【0009】

【表1】

名	称	摘 要	単位	見積単価
車庫工事	基礎工事	フロッキー A	m	2000
車庫工事	基礎工事	フロッキー B	m	3000
車庫工事	基礎工事	フロッキー C	m	4000
車庫工事	フロッキ工事	1 0 0 C B	m ²	5000
車庫工事	フロッキ工事	1 2 0 C B	m ²	6000
車庫工事	フロッキ工事	1 5 0 C B	m ²	7000
車庫工事	フロッキ工事	リッパ120 片面	m ²	12000
車庫工事	フロッキ工事	リッパ150 片面	m ²	15000
車庫工事	フロッキ工事	リッパ150 両面	m ²	17000
車庫工事	フロッキ工事	コーナーク	個	1000
車庫工事	フロッキ工事	ライッパ125	m ²	7000
車庫工事	フロッキ工事	ライッパ150	m ²	9000
車庫工事	左官工事	モルタル毛引き	m ²	2500
車庫工事	左官工事	モルタル笠木両面	m	4000
車庫工事	左官工事	モルタル笠木片面	m	3000

【0010】工事業者Cは、本造園見積システムSを用いて、費用の見積を行うに際し、上記フロッピーディスク2からパーソナルコンピュータ3に読み込んだ項目名と見積単価とを使用する。これにより、建築会社Aが複数の工事業者Cに見積作業を請け負わせる場合でも、造園工事の内容が同一であれば、各工事業者Cにおける見積額を略等しいものとすることができる。

【0011】工事業者Cは見積作業を終了した後、その見積内容を、例えば、フロッピーディスク4に記憶させ、このフロッピーディスク4を建築会社Aに送付する。建築会社Aは、フロッピーディスク4内を見積内容をパーソナルコンピュータ1に読み込み、必要に応じて、印刷装置5で見積書6として印刷した後、顧客Bに提示することができる。なお、上述の建築会社Aから工事業者Cへの項目名や見積単価の配付や、工事業者Cから建築会社Aへの見積内容の送付は、フロッピーディスク2、4以外に、例えば、インターネット等のデータ通信手段を用いて行うこともできる。

【0012】以下、本発明の造園見積システムSにつき説明する。工事業者Cで使用する造園見積システムSは、パーソナルコンピュータ3を用いて構成されるもので、このパーソナルコンピュータ3は、本体7、入力装置としてのキーボード8及びマウス9並びに印刷装置10を備えた通常の構成である。本体7内の図示しないハードディスク（記憶部）には、例えば、マイクロソフト社のMS-DOS等の適宜のオペレーティングシステムと、本発明に係る造園見積用プログラムとが予めインストールされている。

【0013】この造園見積用プログラムは、本体7の画*50

*面11上で上記建築会社Aにて設定された工事内容名や各種材料名等の項目名を入力するとともに、各項目毎の見積数量、見積単価を入力し、必要により、経費の加算或いは所定の税率の消費税の加算等の処理を行った上で造園工事の見積金額の合計を算出するものである。

【0014】以下、造園見積システムSを用いた見積手順を具体例を交えて説明する。上記造園見積用のプログラムを起動すると、まず、パーソナルコンピュータ3の画面11に図2に示すような表書き画面G1が表示される。この表書き画面G1において、日付、担当者名を各々の入力欄L1、L2に、顧客Bの氏名（個人の場合）または名称（法人等の場合）を宛名1、2（宛名の入力用に2行が割り当てられているため、便宜上、各行に対して宛名1、2なる名称を与えている）の欄L3に、顧客Bの住所を宛先1、2の欄L4に各々キーボード8等を用いて入力するとともに、必要により、件名、工事名、工事場所等を各々の入力欄L5、L6、L7に入力する。なお、支払期限や支払条件等の項目は、後に建築会社Aにおいて、入力することができる。実際の入力例を図3に示す。

【0015】一度入力した顧客Bの氏名または名称及び住所は、画面11上の所定のファンクションキーKをマウス9でクリックしたり、或いはキーボード8上の所定のキーを押圧すること等の所定の操作により、前記ハードディスクに登録（記録）しておけば、次回からは、以下で説明するようなポップアップメニュー等を用いて、登録済の顧客の一覧から所望の顧客を選択すれば、当該顧客の氏名または名称及び住所が上記宛名1、2の欄L3及び宛先1、2の欄L4に自動的に入力される。な

お、本実施の形態において、「自動的」とは、上記造園見積用プログラムに基づいて、所定の条件の下でパーソナルコンピュータ3が自動的に所定の処理を行うことをいう。

【0016】次に、造園工事の項目名及び各項目毎の金額を入力するために、明細画面G2を呼び出すのであるが、この呼出方法としては、例えば、画面11上のエスケープキーK1をマウス9でクリックすることにより、例えば、図4に示すようなポップアップメニューP1が表示される。このポップアップメニューP1上の項目群から、図示しないカーソルキーまたはマウス9等を用いて「明細画面」を選択すると、図5に示すような明細画面G2が表示される。なお、一つの画面から他の画面への移動は、上記と同様のポップアップメニューP1等により行えるので、以下では、画面間の移動方法については詳述しない。

【0017】図5において、名称欄Mに、造園工事で使用する各種材料名または工事内容を示す名称等である項目名を入力し、見積数量欄Nに見積数量を入力し、見積単価欄Oに当該項目の単価を入力すると、見積数量と見積単価との乗算（例えば、項目No.1については、見積数量2×見積単価4000円＝8000円の乗算）が自動的に行われ、見積金額欄Qには当該項目の見積金額が表示される。実際の入力例を図6に示す。なお、名称欄M中の項目No.6の「経費」には、予め定められた所定の項目に対して加算される経費が自動的に算出されて表示される。

【0018】いずれの項目に経費を加算するかは、上記名称欄M中の経費を加算する項目の経費フラグ欄M1のみに“1”を入力しておくことで判別する。図6の例では項目No.1、3、4の経費フラグ欄M1に“1”が入力されているので、これらのNo.1、3、4の項目のみに経費が加算される。また、項目No.6の「経費」の見積数量が“0.4”とされているのは、経費率が0.4に設定されていることを示し、例えば、No.1、3、4の項目の合計金額が26000円であれば、実際の経費は0.4を乗算した10400円となる。なお、図6の最下欄Rには合計の見積金額（例えば、46400円）、消費税額（例えば、税率5%として2320円）及び税込合計額（例えば、48720円）が表示される。

【0019】本実施の形態では、名称欄Mにおける各項目名及び見積単価欄Oにおける各項目毎の見積単価を、個別にキーボード8等により入力する代わりに、パーソナルコンピュータ3の上記ハードディスクに登録された項目別見積単価一覧から選択して入力することができる。図7に示すように、各項目及び見積単価の入力に際して、所定のファンクションキーKのクリック等を行うと、前記表1に示されるような項目別見積単価一覧がポップアップメニューP2で表示される。

【0020】このポップアップメニューP2から所望の項目、例えば、「車庫工事」－「基礎工事」－「ブロッ

クベースC」を選択すると、図6の明細画面G2中の名称欄Mの上部に工事種別名「車庫工事」が表示されるとともに、名称欄Mの項目No.1の欄に「基礎工事ブロックベースC」が、見積単価欄Oに単価「4000円」が同時に表示され、その後、見積数量欄Nに数量「2」を入力すると、見積金額欄Oに見積金額「8000円」が自動的に表示される。以下、名称欄Mの項目No.2以降も同様にポップアップメニューP2から選択するのみで項目名及び見積単価の入力が行える。

【0021】このように、本実施の形態では、ポップアップメニューP2から選択するのみで容易に項目名及び見積単価の入力が行えるとともに、ポップアップメニューP2で表示される項目名及び見積単価を建築会社Aが予め設定しておくことにより、複数の工事業者Cにおいて行われる見積の金額を略均一なものとすることができる。

【0022】なお、入力したデータ中に新たなデータを追加で挿入する場合は、データを挿入する行に図示しないカーソルを位置させて所定のファンクションキーKのクリックまたはキーボード8上の所定のキーの操作等を行うと、既に入力されたデータが1行ずつ下方へずれて空白行が1行形成され、この行内に所望のデータの追加を行うことができる。また、入力したデータを削除する場合は、削除したい行に上記カーソルを位置させてキーボード8上の所定のキーの押圧等の動作を行えばよい。

【0023】以上のような手順で見積データを作成した後、この見積データを前記ハードディスク内に記憶させるとともに、前記フロッピーディスク4に放射して建築会社Aに送付する。このように、本実施の形態では、パーソナルコンピュータ3のハードディスク内に本造園見積用プログラムばかりでなく、上記項目別見積単価一覧や各顧客の見積データ等も記憶させるようにしたので、例えば、個々の顧客の見積データをフロッピーディスクに記憶させる場合に比して、データの読込みを高速で行うことができ、これにより、見積に必要な時間を一層短縮することができる。

【0024】また、見積データの作成後、所望の顧客のデータを参照したい場合、キーボード8上で所定のキーを押圧すること等により、例えば、図8に示すように、前記ハードディスク内に記憶されている各顧客のデータから前記工事名が抽出されてポップアップメニューP3として表示され、これらの中から所望の顧客の工事名を選択すると、図3に示すような当該工事名に対応した表書き画面G1が表示される。このように、本実施の形態では、所望の顧客のデータの検索も画面11上で容易に行える。

【0025】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の請求項1の造園見積システムは、パーソナルコンピュータの画面上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容

10

20

30

40

50

等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を上記画面上で算出するようにしたので、見積金額の算出を短時間で正確に行えるようになり、且つ上記パーソナルコンピュータ上で行った見積内容を印刷することにより、顧客に提示するための見積書を容易に作成することができる。また、作成済の見積データを各顧客別に上記パーソナルコンピュータの記憶部に記憶させておけば、所望の顧客のデータの検索を上記パーソナルコンピュータの画面上で容易に行うことができる。

【0026】請求項2の造園見積システムは、請求項1の見積システムにおいて、上記項目名の一覧が予め上記パーソナルコンピュータの記憶部に記憶されており、上記一覧を上記画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより上記画面上に所望の項目名を入力するようにしたものであるから、上記画面上への項目名の入力を行え、これにより、見積作業を一層容易なものとすることができる。

【0027】請求項3の造園見積システムは、請求項1または2の見積システムにおいて、各項目毎の見積単価が予め上記記憶部に記憶されており、上記画面上で所望の項目名を入力すると、当該項目名に対応する見積単価が上記記憶部から読み出されて上記画面上に表示される

ものであるから、作業者が一々各項目毎の見積単価を上記画面上に入力する必要がなく、見積作業が一層容易に行えるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態における造園見積システムを用いた見積手順を示す説明図。

【図2】上記造園見積システムにおけるパーソナルコンピュータの画面に表示される表書き画面を示す説明図。

【図3】上記表書き画面に所定のデータを入力した状態を示す説明図。

【図4】上記表書き画面から明細画面に移行する手順を示す説明図。

【図5】上記明細画面を示す説明図。

【図6】上記明細画面にデータを入力した状態を示す説明図。

【図7】上記明細画面にデータを入力するためにポップアップメニューを表示した状態を示す説明図。

【図8】所望の顧客のデータを上記画面上でポップアップメニューを用いて検索する様子を示す説明図。

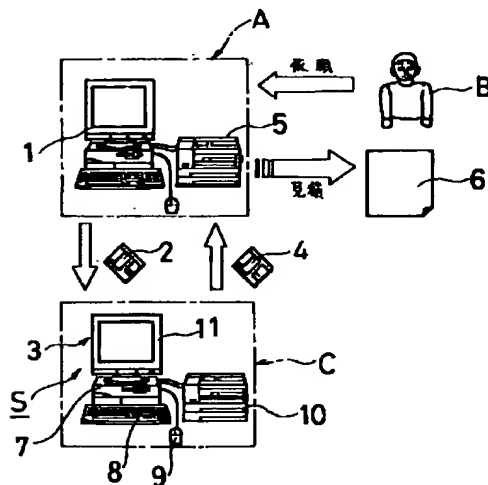
20 【符号の説明】

3 パーソナルコンピュータ

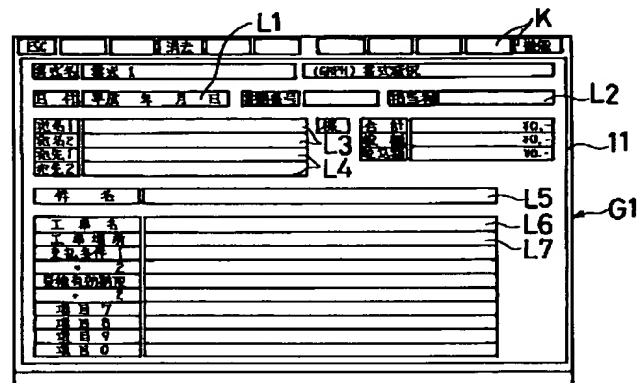
11 画面

S 造園見積システム

【図1】



【図2】



【図3】

【図4】

【図5】

MACHINE-ASSISTED TRANSLATION (MAT):

(19) 【発行国】 日本国特許庁 (J P)	(19)[ISSUING COUNTRY] Japan Patent Office (JP)
(12) 【公報種別】 公開特許公報 (A)	(12)[GAZETTE CATEGORY] Laid-open Kokai Patent (A)
(11) 【公開番号】 特開平 11-288437	(11)[KOKAI NUMBER] Unexamined Japanese Patent Heisei 11-288437
(43) 【公開日】 平成 1 1 年 (1 9 9 9) 1 0 月 1 9 日	(43)[DATE OF FIRST PUBLICATION] October 19, Heisei 11 (1999. 10.19)
(54) 【発明の名称】 造園見積システム	(54)[TITLE OF THE INVENTION] LANDSCAPING ESTIMATION SYSTEM
(51) 【国際特許分類第 6 版】 G06F 17/60	(51)[IPC INT. CL. 6] G06F 17/60
【 F I 】 G06F 15/21 T	[FI] G06F 15/21 T
【審査請求】 未請求	[REQUEST FOR EXAMINATION] No
【請求項の数】 3	[NUMBER OF CLAIMS] 3
【出願形態】 O L	[FORM of APPLICATION] Electronic
【全頁数】 7	[NUMBER OF PAGES] 7
(21) 【出願番号】	(21)[APPLICATION NUMBER]

特願平 10-91334

Japanese Patent Application Heisei 10-91334

(22) 【出願日】

(22)[DATE OF FILING]

平成 10 年 (1 9 9 8) 4 月 3
 日

April 3, Heisei 10 (1998. 4.3)

(71) 【出願人】

(71)[PATENTEE/ASSIGNEE]

【識別番号】

[ID CODE]

000198787

000198787

【氏名又は名称】

[NAME OR APPELLATION]

積水ハウス株式会社

Sekisui House, Ltd.

【住所又は居所】

[ADDRESS OR DOMICILE]

大阪府大阪市北区大淀中 1 丁目
 1 番 8 8 号

(72) 【発明者】

(72)[INVENTOR]

【氏名】

[NAME OR APPELLATION]

上田 勝彦

Ueda Katsuhiko

【住所又は居所】

[ADDRESS OR DOMICILE]

大阪市北区大淀中 1 丁目 1 番 8
 8 号 積水ハウス株式会社内

(74) 【代理人】

(74)[AGENT]

【弁理士】

[PATENT ATTORNEY]

【氏名又は名称】

[NAME OR APPELLATION]

渡辺 三彦

Watanabe Mitsuhiko

(57) 【要約】

(57)[ABSTRACT OF THE DISCLOSURE]

(修正有)

(Amendments Included)

【課題】

短時間で正確に造園工事の費用の見積金額を算出できる造園見積システムを提供すること。

[SUBJECT OF THE INVENTION]

Provide landscaping estimation system which can compute estimated amount of expense of landscape construction correctly in a short time.

【解決手段】

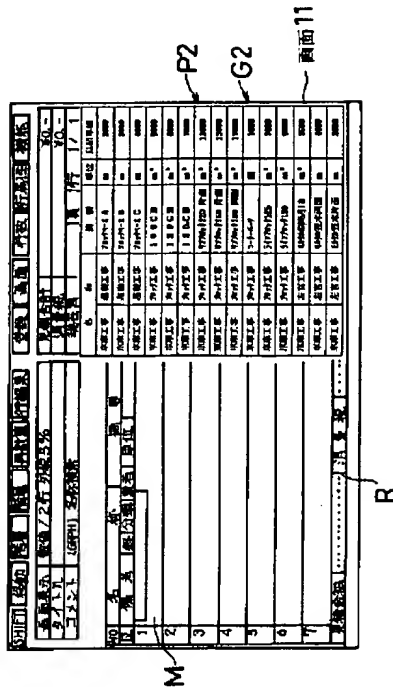
パーソナルコンピュータの画面 1 1 上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容名等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を画面 1 1 上で算出するようにしたものである。また、項目名の一覧が予めパーソナルコンピュータの記憶部に記憶されており、一覧を画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより画面上に所望の項目名を入力する。また、各項目毎の見積単価が予め記憶部に記憶されており、画面上で所望の項目名を入力すると、項目名に対応する見積単価が記憶部から読み出されて画面上に表示される。

[PROBLEM TO BE SOLVED]

What inputs estimated quantity and estimated unit price for every item as item names, such as materials-to-use name for every construction classification of landscape construction, and description-of-work name, on Screen 11 of personal computer, and computed estimated amount of expense of landscape construction on Screen 11.

Moreover, list of item names is beforehand stored in storage part of personal computer, desired item name is input on screen by displaying list on screen and choosing desired item name from this list.

Moreover, estimated unit price for every item is beforehand stored in storage part, if desired item name is input on screen, estimated unit price corresponding to item name will be read from storage part, and will be displayed on screen.



【特許請求の範囲】

[CLAIMS]

【請求項 1】

パーソナルコンピュータの画面上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容名等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を上記画面上で算出するようにしたことを特徴とする造園見積システム。

[CLAIM 1]

Estimated quantity and estimated unit price for every item are input as item names, such as materials-to-use name for every construction classification of landscape construction, and description-of-work name, on screen of personal computer, and estimated amount of expense of landscape construction was computed on the above-mentioned screen.

Landscaping estimation system characterized by the above-mentioned.

【請求項 2】

上記項目名の一覧が予め上記パーソナルコンピュータの記憶

[CLAIM 2]

List of the above-mentioned item names is beforehand stored in storage part of the

部に記憶されており、上記一覧を上記画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより上記画面上に所望の項目名を入力するようにしたことを特徴とする請求項1記載の造園見積システム。

above-mentioned personal computer, desired item name was input on the above-mentioned screen by displaying the above-mentioned list on the above-mentioned screen, and choosing desired item name from this list.

Landscaping estimation system of Claim 1 characterized by the above-mentioned.

【請求項3】

各項目毎の見積単価が予め上記記憶部に記憶されており、上記画面上で所望の項目名を入力すると、当該項目名に対応する見積単価が上記記憶部から読み出されて上記画面上に表示されることを特徴とする請求項1または2記載の造園見積システム。

[CLAIM 3]

Estimated unit price for every item is beforehand stored in the above-mentioned storage part, if desired item name is input on the above-mentioned screen, estimated unit price corresponding to said item name will be read from the above-mentioned storage part, and will be displayed on the above-mentioned screen.

Landscaping estimation system of Claim 1 or 2 characterized by the above-mentioned.

【発明の詳細な説明】**[DETAILED DESCRIPTION OF THE INVENTION]****【0001】****[0001]****【発明の利用分野】**

本発明は、造園工事の費用の見積を行うための造園見積システムに関する。

[INDUSTRIAL APPLICATION]

This invention relates to landscaping estimation system for performing estimate of expense of landscape construction.

【0002】**[0002]****【従来の技術】**

従来、造園工事の費用の見積を行う場合、工事に使用する各種材料の名称や工事内容等の各項

[PRIOR ART]

When performing estimate of expense of landscape construction formerly, while writing down in handwriting each item used for

目を見積用紙に手書きで記入するとともに、各項目毎の見積単価及び見積数量を手書きで記入し、合計金額を算出するようにしていた。また、造園工事の開始後等に所望の顧客のデータを参照したい場合、台帳等から該当する顧客のデータを検索するようにしていた。

construction, such as name of various material, and description of work, in estimated paper, he fills in estimated unit price and estimated quantity for every item in handwriting, and tried to compute total amount.

Moreover, he tried to search data of customer who corresponds from inventory etc. to refer to desired customer's data after start of landscape construction etc.

【 0 0 0 3 】**[0003]****【 発 明 が 解 決 し よ う と す る 課 題 】****[PROBLEM TO BE SOLVED BY THE INVENTION]**

ところが、その場合、造園工事の費用の見積を手書きの用紙を用いて行うものであるから、作業が煩雑になるとともに、見積金額の計算ミスも生じやすい問題を有していた。また、造園工事の受注は建築会社で行い、費用の見積及び実際の工事は工事業者で行うような分業体制を取っている場合、工事の内容は同一であっても個々の工事業者毎に見積金額が相違する場合があります。建築会社による工事費用の管理が困難なものであった。さらに、所望の顧客のデータを参照したい場合、当該データの検索を台帳等に基づいて行っていたので、検索作業に時間が掛かる問題を有していた。

However, since estimate of expense of landscape construction is performed in that case using handwritten paper, while operation became complicated, it had problem which is easy to produce error in calculation of estimated amount of money.

Moreover, when division-of-work organization which performs order received of landscape construction in building company, and performs estimate and actual construction of expense by construction worker is taken, even if the content of construction is the same, estimated amount of money may be different for each construction worker of every.

Management of construction expense by building company was difficult.

Furthermore, since search of said data was performed based on inventory etc. to refer to desired customer's data, it had problem which hangs time for search operation.

【 0 0 0 4 】**[0004]**

【課題を解決するための手段】

本発明の上記の問題点を解決して、短時間で正確に造園工事の費用の見積金額を算出できる造園見積システムを提供することを目的とする。そのため、本発明の請求項１の造園見積システムは、パーソナルコンピュータの画面上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容名等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を上記画面上で算出するようにしたことを特徴とするものである。

【０００５】

請求項２の造園見積システムは、請求項１の見積システムにおいて、上記項目名の一覧が予め上記パーソナルコンピュータの記憶部に記憶されており、上記一覧を上記画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより上記画面上に所望の項目名を入力するようにしたことを特徴とするものである。

【０００６】

請求項３の造園見積システムは、請求項１または２の見積システムにおいて、各項目毎の見

[MEANS TO SOLVE THE PROBLEM]

The above-mentioned problem of this invention is solved, it aims at providing landscaping estimation system which can compute estimated amount of expense of landscape construction correctly in a short time.

Therefore, landscaping estimation system of Claim 1 of this invention inputs estimated quantity and estimated unit price for every item as item names, such as materials-to-use name for every construction classification of landscape construction, and description-of-work name, on screen of personal computer, estimated amount of expense of landscape construction was computed on the above-mentioned screen.

It is characterized by the above-mentioned.

[0005]

Landscaping estimation system of Claim 2 is set to estimation system of Claim 1, list of the above-mentioned item names is beforehand stored in storage part of the above-mentioned personal computer, desired item name was input on the above-mentioned screen by displaying the above-mentioned list on the above-mentioned screen, and choosing desired item name from this list.

It is characterized by the above-mentioned.

[0006]

Landscaping estimation system of Claim 3 is set to estimation system of Claim 1 or 2, estimated unit price for every item is

積単価が予め上記記憶部に記憶されており、上記画面上で所望の項目名を入力すると、当該項目名に対応する見積単価が上記記憶部から読み出されて上記画面上に表示されることを特徴とするものである。

beforehand stored in the above-mentioned storage part, if desired item name is input on the above-mentioned screen, estimated unit price corresponding to said item name will be read from the above-mentioned storage part, and will be displayed on the above-mentioned screen. It is characterized by the above-mentioned.

【0007】**【発明の実施の形態】**

本発明の実施の形態について以下説明する。図1に示すように、建築会社Aは顧客Bからの造園工事の相談を受け付け、工事業者Cは建築会社Aからの依頼に基づき、本発明の造園見積システムSを用いて顧客Bの希望する造園工事の費用の見積を行うとともに、建築会社Aが顧客Bから正式に工事を受注した後に工事業者Cは実際の工事を担当するようになっている。

[0007]**[EMBODIMENT OF THE INVENTION]**

Embodiment of this invention is demonstrated below.

As shown in FIG. 1, building company A receives consult of landscape construction from Customer B, while construction worker C performs estimate of expense of landscape construction which Customer B wishes using landscaping estimation system S of this invention based on request from building company A, after building company A receives order of construction formally from Customer B, construction worker C takes charge of actual construction.

【0008】

建築会社Aはパーソナルコンピュータ1を用いて、造園工事の各工事種別（「車庫工事」、「擁壁工事」等）毎の工事内容名（「基礎工事」、「ブロック工事」等）や各種工事で使用する材料名（「ブロックベース」、「コーナーパーツ」等）からなる項目名を設定するとともに、各項目毎の見積単価を設定し、ここで設定

[0008]

While building company A sets up item name which is made up of material names ("block base", "corner part", etc.) used by description-of-work name of each construction classification of every and various construction ("foundation", "block construction", etc.) of landscape construction ("car-barn construction", "protective-wall construction", etc.) using personal computer 1, estimated unit price list classified by item which set up estimated unit

した項目別見積単価一覧を、例えば、フロッピーディスク 2 に記憶させて工事業者 C に配付する。以下の表 1 に項目別見積単価一覧の一部を例示する。

price for every item, and was set up here is stored in floppy disk 2, and is distributed among construction worker C.

One part of estimated unit price list classified by item is illustrated to following Table 1.

【0009】

[0009]

【表 1】

[TABLE 1]

名 称		摘 要	単位	見積単価
車庫工事	基礎工事	ブロック A	m	2000
車庫工事	基礎工事	ブロック B	m	3000
車庫工事	基礎工事	ブロック C	m	4000
車庫工事	ブロック工事	1 0 0 C B	m ²	5000
車庫工事	ブロック工事	1 2 0 C B	m ²	6000
車庫工事	ブロック工事	1 5 0 C B	m ²	7000
車庫工事	ブロック工事	リブブロック120 片面	m ²	12000
車庫工事	ブロック工事	リブブロック150 片面	m ²	15000
車庫工事	ブロック工事	リブブロック150 両面	m ²	17000
車庫工事	ブロック工事	コーナーク	個	1000
車庫工事	ブロック工事	ラインブロック125	m ²	7000
車庫工事	ブロック工事	ラインブロック150	m ²	9000
車庫工事	左官工事	鉄骨刷毛引き	m ²	2500
車庫工事	左官工事	鉄骨笠木両面	m	4000
車庫工事	左官工事	鉄骨笠木片面	m	3000

Name; Summary; Unit; Estimated unit price

Car-barn construction; Foundation; Block base A; ...

Car-barn construction; Foundation; Block base B; ...

Car-barn construction; Foundation; Block base C; ...

Car-barn construction; Block construction; ...

Car-barn construction; Block construction; ...

Car-barn construction; Block construction; ...

Car-barn construction; Block construction; Rib block 120 One surface; ...

Car-barn construction; Block construction; Rib block 150 One surface; ...

Car-barn construction; Block construction; Rib block 150 Both surfaces; ...

Car-barn construction; Block construction; Corner baht; piece; ...
 Car-barn construction; Block construction; Line block 125; ...
 Car-barn construction; Block construction; Line block 150; ...
 Car-barn construction; Plaster work; Mortar brush length; ...
 Car-barn construction; Plaster work; Mortar coping both surfaces; ...
 Car-barn construction; Plaster work; Mortar coping one surface; ...

【0010】

工事業者Cは、本造園見積システムSを用いて、費用の見積を行うに際し、上記フロッピーディスク2からパーソナルコンピュータ3に読み込んだ項目名と見積単価とを使用する。これにより、建築会社Aが複数の工事業者Cに見積作業を請け負わせる場合でも、造園工事の内容が同一であれば、各工事業者Cにおける見積額を略等しいものとするができる。

[0010]

Construction worker C uses item name and estimated unit price which were read into personal computer 3 from the above-mentioned floppy disk 2 when performing estimate of expense using this landscaping estimation system S.

Thereby, if the content of landscape construction is the same even when building company A makes two or more construction workers C contract estimate making, estimated cost in each construction worker C can be made nearly equal.

【0011】

工事業者Cは見積作業を終了した後、その見積内容を、例えば、フロッピーディスク4に記憶させ、このフロッピーディスク4を建築会社Aに送付する。建築会社Aは、フロッピーディスク4内の見積内容をパーソナルコンピュータ1に読み込み、必要に応じて、印刷装置5で見積書6として印刷した後、顧客Bに提示することができる。なお、

[0011]

Construction worker C stores the estimation contents in floppy disk 4, after completing estimate making.

This floppy disk 4 is sent to building company A. Building company A reads estimation contents in floppy disk 4 into personal computer 1, and as required, after it prints as estimate 6 with printer 5, it can show Customer B.

In addition, item name to construction worker C, distribution of estimated unit price, and sending of estimation contents to building company A

上述の建築会社Aから工事業者Cへの項目名や見積単価の配付や、工事業者Cから建築会社Aへの見積内容の送付は、フロッピーディスク2、4以外に、例えば、インターネット等のデータ通信手段を用いて行うこともできる。

from construction worker C can also be performed by using data-communication means, such as Internet, from above-mentioned building company A in addition to floppy disk 2 and 4.

【0012】

以下、本発明の造園見積システムSにつき説明する。工事業者Cで使用する造園見積システムSは、パーソナルコンピュータ3を用いて構成されるもので、このパーソナルコンピュータ3は、本体7、入力装置としてのキーボード8及びマウス9並びに印刷装置10を備えた通常の構成である。本体7内の図示しないハードディスク（記憶部）には、例えば、マイクロソフト社のMS-DOS等の適宜のオペレーティングシステムと、本発明に係る造園見積用プログラムとが予めイントストールされている。

[0012]

Hereafter, landscaping estimation system S of this invention is demonstrated.

Landscaping estimation system S used by construction worker C is comprised using personal computer 3.

This personal computer 3 is usual composition equipped with keyboard 8, mouse 9, and printer 10 as main body 7 and an input device.

In toss torr of proper OSs, such as MS-DOS of for example, Microsoft Corp., and the program for landscaping estimate based on this invention is beforehand carried out to hard disk (storage part) which is not illustrated in main body 7.

【0013】

この造園見積用プログラムは、本体7の画面11上で上記建築会社Aにて設定された工事内容名や各種材料名等の項目名を入力するとともに、各項目毎の見積数量、見積単価を入力し、必要により、経費の加算或いは所

[0013]

While this program for landscaping estimate inputs item names set up in the above-mentioned building company A, such as description-of-work name and various material names, on Screen 11 of main body 7, estimated quantity for every item and estimated unit price are input, if necessary, after performing

定の税率の消費税の加算等の処理を行った上で造園工事の見積金額の合計を算出するものである。

processing of addition of cost, or addition of consumption tax of fixed tax rates, sum total of estimated amount of money of landscape construction is computed.

【0014】

以下、造園見積システムSを用いた見積手順を具体例を交えて説明する。上記造園見積用のプログラムを起動すると、まず、パーソナルコンピュータ3の画面11に図2に示すような表書き画面G1が表示される。この表書き画面G1において、日付、担当者名を各々の入力欄L1 L2に、顧客Bの氏名（個人の場合）または名称（法人等の場合）を宛名1、2（宛名の入力用に2行が割り当てられているため、便宜上、各行に対して宛名1、2なる名称を与えている）の欄L3に、顧客Bの住所を宛先1、2の欄L4に各々キーボード8等を用いて入力するとともに、必要により、件名、工事名、工事場所等を各々の入力欄L5、L6、L7に入力する。なお、支払期限や支払条件等の項目は、後に建築会社Aにおいて、入力することができる。実際の入力例を図3に示す。

[0014]

Hereafter, example is mixed and estimate procedures using landscaping estimation system S are demonstrated.

Starting of program for the above-mentioned landscaping estimate displays table writing screen G1 as shown in FIG. 2 on Screen 11 of personal computer 3 first.

In this table writing screen G1, using keyboard 8 etc., date and person-in-charge name are input into each input column L1 L2, customer's B name (in the case of individual) or name (in the cases of corporation etc.) is input into column L3 of addressees 1 and 2 (since two lines is assigned to input of addressee, name of addressees 1 and 2 has been conferred to each line for convenience), customer's B address is input into column L4 of addresses 1 and 2.

Also, if necessary, subject name, construction name, construction place, etc. are input into each input columns L5, L6, and L7.

In addition, items, such as due date for payment and payment condition, can be behind input in building company A.

Actual example of input is shown in FIG. 3.

【0015】

一度入力した顧客Bの氏名または名称及び住所は、画面11上の所定のファンクションキーK

[0015]

Name or name, and address of customer B who input once click fixed function key K on Screen 11 with mouse 9, or

をマウス 9 でクリックしたり、
 或いはキーボード 8 上の所定の
 キーを押圧すること等の所定の
 操作により、前記ハードディス
 クに登録（記録）しておけば、
 次回からは、以下で説明するよ
 うなポップアップメニュー等を
 用いて、登録済の顧客の一覧か
 ら所望の顧客を選択すれば、当
 該顧客の氏名または名称及び住
 所が上記宛名 1、2 の欄 L 3 及
 び宛先 1、2 の欄 L 4 に自動的
 に入力される。なお、本実施の
 形態において、「自動的」とは、
 上記造園見積用プログラムに基
 づいて、所定の条件の下でパー
 ソナルコンピュータ 3 が自動的
 に所定の処理を行うことをい
 う。

【0016】

次に、造園工事の項目名及び各
 項目毎の金額を入力するため
 に、明細画面 G 2 を呼び出すの
 であるが、この呼出方法として
 は、例えば、画面 1 1 上のエス
 ケープキー K 1 をマウス 9 でク
 リックすることにより、例えば、
 図 4 に示すようなポップアップ
 メニュー P 1 が表示される。こ
 のポップアップメニュー P 1 上
 の項目群から、図示しないカー
 ソルキーまたはマウス 9 等を用
 いて「明細画面」を選択すると、
 図 5 に示すような明細画面 G 2
 が表示される。なお、一つの画

If it registers with said hard disk by fixed
 operation of pressing fixed key on keyboard 8
 (recording), from next time, if desired customer
 is chosen from list of registered customer using
 pop up menu which is demonstrated below, said
 customer's name or name, and address will be
 automatically input into column L3 of the
 above-mentioned addressees 1 and 2, and
 column L4 of addresses 1 and 2.

In addition, it sets in this Embodiment,
 "automatic" means that personal computer 3
 performs fixed processing automatically under
 fixed conditions based on the above-mentioned
 program for landscaping estimate.

[0016]

Next, in order to input item name of landscape
 construction, and amount of money for every
 item, detailed screen G2 is called.

However, as this call method, pop up menu P1
 as shown in FIG. 4 is displayed, for example by
 clicking Escape key K1 on Screen 11 with
 mouse 9.

If "detailed screen" is chosen from item group
 on this pop up menu P1 using cursor key or
 mouse 9 etc. which is not illustrated, detailed
 screen G2 as shown in FIG. 5 will be displayed.
 In addition, pop up menu P1 etc. similar to the
 above can perform movement on other screen
 from one screen.

Therefore, below, the move method between

面から他の画面への移動は、上記と同様のポップアップメニューP1等により行えるので、以下では、画面間の移動方法については詳述しない。

screens is not explained in full detail.

【0017】

図5において、名称欄Mに、造園工事で使用する各種材料名または工事内容を示す名称等である項目名を入力し、見積数量欄Nに見積数量を入力し、見積単価欄Oに当該項目の単価を入力すると、見積数量と見積単価との乗算（例えば、項目 No.1 については、見積数量 2 × 見積単価 4000 円 = 8000 円の乗算）が自動的に行われ、見積金額欄Qには当該項目の見積金額が表示される。実際の入力例を図6に示す。なお、名称欄M中の項目 No.6 の「経費」には、予め定められた所定の項目に対して加算される経費が自動的に算出されて表示される。

[0017]

In FIG. 5, if item name which is name which shows various material names or description of work used for name column M by landscape construction is input, estimated quantity is input into estimated quantity column N and unit price of said item is input into estimated unit price column O, multiplication (for example, about item No. 1, it is estimated quantity 2* estimated unit price of 4000 yen = 8000 yen multiplication) with estimated quantity and estimated unit price is performed automatically.

Estimated amount of money of said item is displayed on estimated amount-of-money column Q.

Actual example of input is shown in FIG. 6.

In addition, cost added to predetermined fixed item is automatically computed by "cost" of item No. 6 in name column M, and is displayed on it.

【0018】

いずれの項目に経費を加算するかは、上記名称欄M中の経費を加算する項目の経費フラグ欄M1のみに“1”を入力しておくことで判別する。図6の例では項目 No.1、3、4 の経費フラグ欄M1に“1”が入力されているので、これらの No.1、3、4 の

[0018]

Whether cost is added to which item distinguishes in inputting "1" only into cost flag column M1 adding cost in the above-mentioned name column M of item.

"1" is input into item No. 1 and 3 or 4 cost flag columns M1 in example of FIG. 6.

Therefore, cost is added only to these No. 1 and 3 or 4 items.

項目のみに経費が加算される。また、項目 NO.6 の「経費」の見積数量が“0.4”とされているのは、経費率が0.4に設定されていることを示し、例えば、No.1、3、4の項目の合計金額が26000円であれば、実際の経費は0.4を乗算した10400円となる。なお、図6の最下欄Rには合計の見積金額（例えば、46400円）、消費税額（例えば、税率5%として2320円）及び税込合計額（例えば、48720円）が表示される。

Moreover, that estimated quantity of "cost" of item NO.6 is set to "0.4" shows that ratio of necessary expenses to gross revenue is set as 0.4, for example, if total amount of No. 1 and 3 or 4 items is 26000 yen, actual cost will change to 10400 yen which multiplied 0.4.

In addition, estimated amount of money (for example, 46400 yen), total consumption-tax amount (for example, 2320 yen as 5% of tax rates), and total including-tax total amount (for example, 48720 yen) are displayed on the lowest column R of FIG. 6.

【0019】

本実施の形態では、名称欄Mにおける各項目名及び見積単価欄Oにおける各項目毎の見積単価を、個別にキーボード8等により入力する代わりに、パーソナルコンピュータ3の上記ハードディスクに登録された項目別見積単価一覧から選択して入力することができる。図7に示すように、各項目及び見積単価の入力に際して、所定のファンクションキーKのクリック等を行うと、前記表1に示されるような項目別見積単価一覧がポップアップメニューP2で表示される。

[0019]

In this Embodiment, instead of individually inputting by keyboard 8 etc., each item name in name column M and estimated unit price for every item in estimated unit price column O can be chosen from estimated unit price list classified by item registered into the above-mentioned hard disk of personal computer 3, and can be input.

As shown in FIG. 7, if clicking of fixed function key K etc. is performed when inputting each item and estimated unit price, estimated unit price list classified by item as shown in said table 1 will be displayed with pop up menu P2.

【0020】

このポップアップメニューP2から所望の項目、例えば、「車庫

[0020]

If desired item, for example, "car-barn construction"-"foundation"-"block base C," is

工事」—「基礎工事」—「ブロックベースC」を選択すると、図6の明細画面G2中の名称欄Mの上部に工事種別名「車庫工事」が表示されるとともに、名称欄Mの項目No.1の欄に「基礎工事ブロックベースC」が、見積単価欄Oに単価「4000円」が同時に表示され、その後、見積数量欄Nに数量「2」を入力すると、見積金額欄Oに見積金額「8000円」が自動的に表示される。以下、名称欄Mの項目No.2以降も同様にポップアップメニューP2から選択するのみで項目名及び見積単価の入力が行える。

【0021】

このように、本実施の形態では、ポップアップメニューP2から選択するのみで容易に項目名及び見積単価の入力が行えるとともに、ポップアップメニューP2で表示される項目名及び見積単価を建築会社Aが予め設定しておくことにより、複数の工事業者Cにおいて行われる見積の金額を略均一なものとする事ができる。

【0022】

なお、入力したデータ中に新たなデータを追加で挿入する場合は、データを挿入する行に図示しないカーソルを位置させて所

chosen from this pop up menu P2, while construction classification name "car-barn construction" is displayed on upper part of name column M in detailed screen G2 of FIG. 6, "Foundation block base C" is displayed on column of item No. 1 of name column M, and unit price "4000 yen" is simultaneously displayed on estimated unit price column O, after that, if quantity "2" is input into estimated quantity column N, estimated amount of money "8000 yen" will be automatically displayed on estimated amount-of-money column O.

Hereafter, input of item name and estimated unit price can be performed only by choosing similarly item No. 2 of name column M or subsequent ones from pop up menu P2.

[0021]

Thus, in this Embodiment, while being able to perform input of item name and estimated unit price easily only by choosing from pop up menu P2, when building company A sets up beforehand item name and estimated unit price which are displayed with pop up menu P2, amount of money of estimate performed in two or more construction workers C can be made approximately uniform.

[0022]

In addition, if cursor which is not illustrated in line which inserts data is located and clicking of fixed function key K or operation of fixed key on keyboard 8 is performed when inserting new

定のファンクションキーKのクリックまたはキーボード8上の所定のキーの操作等を行うと、既に入力されたデータが1行ずつ下方へずれて空白行が1行形成され、この行内に所望のデータの追加を行うことができる。また、入力したデータを削除する場合は、削除したい行に上記カーソルを位置させてキーボード8上の所定のキーの押圧等の動作を行えばよい。

【0023】

以上のような手順で見積データを作成した後、この見積データを前記ハードディスク内に記憶させるとともに、前記フロッピーディスク4に輻射して建築会社Aに送付する。このように、本実施の形態では、パーソナルコンピュータ3のハードディスク内に本造園見積用プログラムばかりでなく、上記項目別見積単価一覧や各顧客の見積データ等も記憶させるようにしたので、例えば、個々の顧客の見積データをフロッピーディスクに記憶させる場合に比して、データの読込みを高速で行うことができ、これにより、見積に必要な時間を一層短縮することができる。

【0024】

また、見積データの作成後、所

data by addition into input data, already input data will offset one line at a time below, and blank line of one line will be formed, addition of desired data can be performed in this line.

Moreover, what is necessary is to locate the above-mentioned cursor in line to delete, and just to perform operation of press of fixed key on keyboard 8 etc., when deleting input data.

[0023]

After making estimated data in the above procedures, while storing this estimated data in said hard disk, it radiates on said floppy disk 4, and sends to building company A.

Thus, in this Embodiment, not only in program for this landscaping estimate in hard disk of personal computer 3, since the above-mentioned estimated unit price list classified by item, each customer's estimated data, etc. were stored, for example, when it stores each customer's estimated data in floppy disk, it compares, reading of data can be performed at high speed and, thereby, time required for estimate can be shortened further.

[0024]

Moreover, after creation of estimated data, by

望の顧客のデータを参照したい場合、キーボード 8 上で所定のキーを押圧すること等により、例えば、図 8 に示すように、前記ハードディスク内に記憶されている各顧客のデータから前記工事名が抽出されてポップアップメニュー P 3 として表示され、これらの中から所望の顧客の工事名を選択すると、図 3 に示すような当該工事名に対応した表書き画面 G 1 が表示される。このように、本実施の形態では、所望の顧客のデータの検索も画面 1 1 上で容易に行える。

pressing fixed key on keyboard 8 etc., said construction name is extracted from each customer's data stored in said (for example, as shown in FIG. 8) hard disk and it displays as a pop up menu P3 to refer to desired customer's data, if desired customer's construction name is chosen from these, table writing screen G1 corresponding to said construction name as shown in FIG. 3 will be displayed.

Thus, in this Embodiment, search of desired customer's data can also be easily performed on Screen 11.

【0025】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明の請求項 1 の造園見積システムは、パーソナルコンピュータの画面上で造園工事の各工事種別毎の使用材料名や工事内容名等の項目名と、各項目毎の見積数量及び見積単価を入力し、造園工事の費用の見積金額を上記画面上で算出するようにしたので、見積金額の算出を短時間で正確に行えるようになり、且つ上記パーソナルコンピュータ上で行った見積内容を印刷することにより、顧客に提示するための見積書を容易に作成することができる。また、作成済の見積

[0025]

[ADVANTAGE OF THE INVENTION]

As explained above, landscaping estimation system of Claim 1 of this invention inputs estimated quantity and estimated unit price for every item as item names, such as materials-to-use name for every construction classification of landscape construction, and description-of-work name, on screen of personal computer, since estimated amount of expense of landscape construction was computed on the above-mentioned screen, calculation of estimated amount of money can be performed correctly in a short time, and by printing estimation contents performed on the above-mentioned personal computer, estimate for showing customer can be drawn up easily. Moreover, if storage part of the

データを各顧客別に上記パーソナルコンピュータの記憶部に記憶させておけば、所望の顧客のデータの検索を上記パーソナルコンピュータの画面上で容易に行うことができる。

【0026】

請求項2の造園見積システムは、請求項1の見積システムにおいて、上記項目名の一覧が予め上記パーソナルコンピュータの記憶部に記憶されており、上記一覧を上記画面上に表示させてこの一覧から所望の項目名を選択することにより上記画面上に所望の項目名を入力するようにしたものであるから、上記画面上への項目名の入力を容易に行え、これにより、見積作業を一層容易なものとすることができる。

【0027】

請求項3の造園見積システムは、請求項1または2の見積システムにおいて、各項目毎の見積単価が予め上記記憶部に記憶されており、上記画面上で所望の項目名を入力すると、当該項目名に対応する見積単価が上記記憶部から読み出されて上記画面上に表示されるものであるから、作業者が一々各項目毎の見積単価を上記画面上に入力する必要がなく、見積作業が一層容

above-mentioned personal computer is made to store creation settled estimated data according to each customer, search of desired customer's data can be easily performed on screen of the above-mentioned personal computer.

[0026]

Landscaping estimation system of Claim 2 is set to estimation system of Claim 1, list of the above-mentioned item names is beforehand stored in storage part of the above-mentioned personal computer, since desired item name is input on the above-mentioned screen by displaying the above-mentioned list on the above-mentioned screen, and choosing desired item name from this list, input of item name to the above-mentioned screen top can be performed easily, thereby, estimate making can be made still easier.

[0027]

Landscaping estimation system of Claim 3 is set to estimation system of Claim 1 or 2, estimated unit price for every item is beforehand stored in the above-mentioned storage part, since estimated unit price corresponding to said item name is what is read from the above-mentioned storage part and displayed on the above-mentioned screen when desired item name is input on the above-mentioned screen, operator does not need to input estimated unit price for every item on the above-mentioned screen one by one,

易に行えるようになる。

and estimate making can carry out now still more easily.

【図面の簡単な説明】

[BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS]

【図 1】

本発明の実施の形態における造園見積システムを用いた見積手順を示す説明図。

[FIG. 1]

Explanatory drawing showing estimate procedures using landscaping estimation system in Embodiment of this invention.

【図 2】

上記造園見積システムにおけるパーソナルコンピュータの画面に表示される表書き画面を示す説明図。

[FIG. 2]

Explanatory drawing showing table writing screen displayed on screen of personal computer in the above-mentioned landscaping estimation system.

【図 3】

上記表書き画面に所定のデータを入力した状態を示す説明図。

[FIG. 3]

Explanatory drawing showing the state where fixed data were input into the above-mentioned table writing screen.

【図 4】

上記表書き画面から明細画面に移行する手順を示す説明図。

[FIG. 4]

Explanatory drawing showing procedure which moves to detailed screen from the above-mentioned table writing screen.

【図 5】

上記明細画面を示す説明図。

[FIG. 5]

Explanatory drawing showing the above-mentioned detailed screen.

【図 6】

上記明細画面にデータを入力した状態を示す説明図。

[FIG. 6]

Explanatory drawing showing the state where data were input into the above-mentioned detailed screen.

【図 7】

上記明細画面にデータを入力するためにポップアップメニューを表示した状態を示す説明図。

[FIG. 7]

Explanatory drawing showing the state where pop up menu was displayed in order to input data into the above-mentioned detailed screen.

【図 8】

所望の顧客のデータを上記画面上でポップアップメニューを用いて検索する様子を示す説明図。

[FIG. 8]

Explanatory drawing showing a mode that desired customer's data are searched using pop up menu on the above-mentioned screen.

【符号の説明】

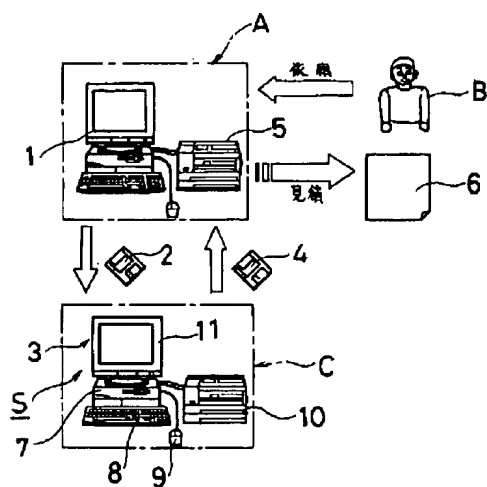
3 パーソナルコンピュータ
 11 画面
 S 造園見積システム

[DESCRIPTION OF SYMBOLS]

3 Personal computer
 11 Screen
 S Landscaping estimation system

【図 1】

[FIG. 1]



<- request
 -> estimate

【図 2】

[FIG. 2]

Figure 1 is a schematic diagram of a Japanese form, likely for a company or organization. The form is divided into several sections, each labeled with a letter and a number. The top section is labeled 'L1' and contains fields for 'Form No.' (Form No.), 'Date' (Date), and 'Page' (Page). Below this is a section labeled 'L2' containing fields for 'Name' (Name), 'Address' (Address), and 'Phone' (Phone). The 'Name' field is further divided into 'Name' (Name) and 'Surname' (Surname). The 'Address' field is divided into 'City' (City), 'Street' (Street), and 'Postcode' (Postcode). The 'Phone' field is divided into 'Area Code' (Area Code) and 'Number' (Number). Below these fields is a section labeled 'L3' containing a 'Remarks' (Remarks) field. To the right of the 'Remarks' field is a section labeled 'L4' containing a 'Signature' (Signature) field. The bottom section is labeled 'L5' and contains a table with columns for 'Name' (Name), 'Address' (Address), and 'Phone' (Phone). The table has multiple rows for data entry. The form is also labeled with 'L6' and 'G1'.

Delete

Function

Format name	Format 1	Format (GRPH) choice
1	1	1
2	2	2
3	3	3
4	4	4
5	5	5
6	6	6
7	7	7
8	8	8
9	9	9
10	10	10
11	11	11
12	12	12
13	13	13
14	14	14
15	15	15
16	16	16
17	17	17
18	18	18
19	19	19
20	20	20
21	21	21
22	22	22
23	23	23
24	24	24
25	25	25
26	26	26
27	27	27
28	28	28
29	29	29
30	30	30
31	31	31
32	32	32
33	33	33
34	34	34
35	35	35
36	36	36
37	37	37
38	38	38
39	39	39
40	40	40
41	41	41
42	42	42
43	43	43
44	44	44
45	45	45
46	46	46
47	47	47
48	48	48
49	49	49
50	50	50
51	51	51
52	52	52
53	53	53
54	54	54
55	55	55
56	56	56
57	57	57
58	58	58
59	59	59
60	60	60
61	61	61
62	62	62
63	63	63
64	64	64
65	65	65
66	66	66
67	67	67
68	68	68
69	69	69
70	70	70
71	71	71
72	72	72
73	73	73
74	74	74
75	75	75
76	76	76
77	77	77
78	78	78
79	79	79
80	80	80
81	81	81
82	82	82
83	83	83
84	84	84
85	85	85
86	86	86
87	87	87
88	88	88
89	89	89
90	90	90
91	91	91
92	92	92
93	93	93
94	94	94
95	95	95
96	96	96
97	97	97
98	98	98
99	99	99
100	100	100

Date	Year-Month-Day	Filing number	Person in charge
------	----------------	---------------	------------------

Addressee 1 (?) Sum total

Addressee 2 Tax amount

Destination 1 Total including tax

Destination 2

Subject name

Construction name

Construction place

Conditions for payment 1

...

Term of validity of the estimation

...

Item 7

...

【図 3】

[FIG. 3]

The form contains the following data:

Format name	Format 1	Format (GRPH) choice
Date	Year: Heisei 10 Month: 5 Day: 1	Filing number
Person in charge	Yamada	
Addressee 1	Tokkyo Taro (?) Sum total	
Addressee 2	Tax amount	
Destination 1	1-2-3 Nakanojima, Kita-ku, Osaka Total including tax	
Destination 2		
Subject name	Tokkyo Taro's House	
Construction name	Car-barn construction	
Construction place	1-2-3 Nakanojima, Kita-ku, Osaka	
Conditions for payment 1		
Term of validity of the estimation		
Item 7		

Delete Function

Format name Format 1 Format (GRPH) choice

Date Year: Heisei 10 Month: 5 Day: 1 Filing number Person in charge: Yamada

Addressee 1 Tokkyo Taro (?) Sum total

Addressee 2 Tax amount

Destination 1: 1-2-3 Nakanojima, Kita-ku, Osaka Total including tax

Destination 2

Subject name: Tokkyo Taro's House

Construction name: Car-barn construction

Construction place: 1-2-3 Nakanojima, Kita-ku, Osaka

Conditions for payment 1

...

Term of validity of the estimation

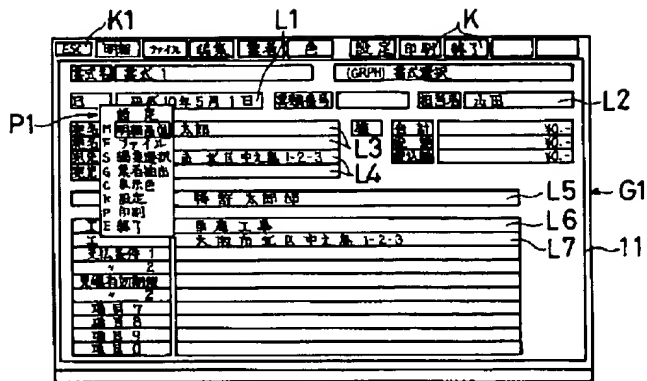
...

Item 7

...

【図 4】

[FIG. 4]



Delete Detail File Edit Company Color Set Print End

Format name Format 1 Format (GRPH) choice

Date Year: Heisei 10 Month: 5 Day: 1 Filing number Person in charge: Yamada

Addressee 1 Tokkyo Taro (?) Sum total

Addressee 2 Tax amount

Destination 1: 1-2-3 Nakanojima, Kita-ku, Osaka Total including tax

Destination 2

Subject name: Tokkyo Taro's House

Construction name: Car-barn construction

Construction place: 1-2-3 Nakanojima, Kita-ku, Osaka

Conditions for payment 1

...

Term of validity of the estimation

...

Item 7

...

P1: Set

M Detailed Screen

F File

S Edit choice

G Company choice

C Display color

K Set

P Print

E End

【図 5】

[FIG. 5]

No.	Name	Summary	Estimate items	Estimate unit cost	Estimate amount
1	消費税込	消費税			
2					
3					
4					
5					
6					
7					

... Move Level-up Level-down Recalculate Line edit Register Screen Number of
line Line property Function

Screen display: Value / 2lines, tax excluded 5% Total estimate

Title Consumption tax

Comment: (GRPH) Name search Present page: page 1, line 1, ...

... Name Summary Estimate items Estimate unit cost Estimate amount

Division Remark (?) Classification Company Unit

Estimate amount Consumption tax Total with tax

【図 6】

[FIG. 6]

項目	名称	単位	数量	単価	金額	消費税	合計
1	基礎工事						
2	ブロック工						
3	ブロック工						
4	ブロック工						
5	ブロック工						
6	ブロック工						
7	ブロック工						
8	ブロック工						
9	ブロック工						
10	ブロック工						
11	ブロック工						
12	ブロック工						
13	ブロック工						
14	ブロック工						
15	ブロック工						
16	ブロック工						
17	ブロック工						
18	ブロック工						
19	ブロック工						
20	ブロック工						
21	ブロック工						
22	ブロック工						
23	ブロック工						
24	ブロック工						
25	ブロック工						
26	ブロック工						
27	ブロック工						
28	ブロック工						
29	ブロック工						
30	ブロック工						
31	ブロック工						
32	ブロック工						
33	ブロック工						
34	ブロック工						
35	ブロック工						
36	ブロック工						
37	ブロック工						
38	ブロック工						
39	ブロック工						
40	ブロック工						
41	ブロック工						
42	ブロック工						
43	ブロック工						
44	ブロック工						
45	ブロック工						
46	ブロック工						
47	ブロック工						
48	ブロック工						
49	ブロック工						
50	ブロック工						
51	ブロック工						
52	ブロック工						
53	ブロック工						
54	ブロック工						
55	ブロック工						
56	ブロック工						
57	ブロック工						
58	ブロック工						
59	ブロック工						
60	ブロック工						
61	ブロック工						
62	ブロック工						
63	ブロック工						
64	ブロック工						
65	ブロック工						
66	ブロック工						
67	ブロック工						
68	ブロック工						
69	ブロック工						
70	ブロック工						
71	ブロック工						
72	ブロック工						
73	ブロック工						
74	ブロック工						
75	ブロック工						
76	ブロック工						
77	ブロック工						
78	ブロック工						
79	ブロック工						
80	ブロック工						
81	ブロック工						
82	ブロック工						
83	ブロック工						
84	ブロック工						
85	ブロック工						
86	ブロック工						
87	ブロック工						
88	ブロック工						
89	ブロック工						
90	ブロック工						
91	ブロック工						
92	ブロック工						
93	ブロック工						
94	ブロック工						
95	ブロック工						
96	ブロック工						
97	ブロック工						
98	ブロック工						
99	ブロック工						
100	ブロック工						

... Move Level-up Level-down Recalculate Line edit Register Screen Number of line
 Line property Function

Screen display: Standard / 2lines, tax excluded 5% Total estimate

Title: Sample data 1 Consumption tax

Comment: (GRPH) Name search Present page: page 1, line 6, ...

1. Car-barn construction

... Name Summary Estimate items Estimate unit cost Estimate amount

Division Remark (?) Classification Company Unit

1. Foundation; Block base C

2. Block construction

3. Block construction, Rib block 150 Both surfaces

4. Block construction, Corner baht, 1 piece

5. Plaster work, Mortar coping one surface

6 (kei). Cost Equation

Estimate amount Consumption tax Total with tax

【図 7】

[FIG. 7]

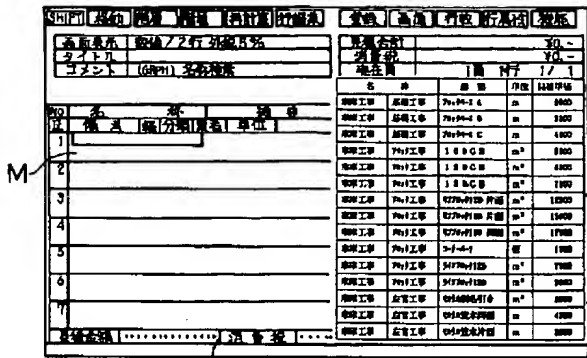


Table structure (approximate):

No.	Name	Unit	Price	Tax	Total
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

... Move Level-up Level-down Recalculate Line edit Register Screen Number of line Line property Function

Screen display: Value / 2lines, tax excluded 5% Total estimate

Title Consumption tax

Comment: (GRPH) Name search Present page: page 1, line 1, ...

... Name Summary ...

Division Remark (?) Classification Company Unit

Estimate amount Consumption tax ...

P2

See Table 1.

Screen 11

【図 8】

[FIG. 8]

Figure 1 is a schematic diagram of a computer terminal screen displaying a Japanese administrative form. The screen is labeled 11. At the top, there are fields for 'ORG' (labeled L1), 'NAME' (labeled K), and 'TITLE'. Below these are fields for 'DEPT' (labeled L2), 'DATE' (labeled L3), and 'TIME' (labeled L4). The main body of the form contains a table with columns for 'NAME' (labeled P3), 'TITLE' (labeled G1), and 'DEPT' (labeled L5). The table has several rows, with the first row containing the name '山田 一郎' (Yamada Ichiro) and the title '部長' (Chief). The bottom of the screen shows a status bar with 'ADDR' (labeled L6), 'ID' (labeled L7), and 'TIME' (labeled L8).

Delete	Function		
Format name	Format 1	Format (GRPH) choice	
Date	Year-Month-Day	Filing number	Person in charge
Addressee 1	...		
Addressee 2	...		
Destination 1	...		
Destination 2			

Subject name

Construction name
Construction place
Conditions for payment 1

Term of validity of the estimation

Item 7

P3

Data read-in
Tokkyo Taro's house
Tokkyo Taro's house
Tokkyo Taro's house
Yamada



DERWENT TERMS AND CONDITIONS

Derwent shall not in any circumstances be liable or responsible for the completeness or accuracy of any Derwent translation and will not be liable for any direct, indirect, consequential or economic loss or loss of profit resulting directly or indirectly from the use of any translation by any customer.

Derwent Information Ltd. is part of The Thomson Corporation

Please visit our home page:

["WWW.DERWENT.CO.UK"](http://WWW.DERWENT.CO.UK) (English)

["WWW.DERWENT.CO.JP"](http://WWW.DERWENT.CO.JP) (Japanese)